



◇下郷中学校教育目標◇  
「知性」「品格」「健康」

○教育目標達成のスローガン

「認めあい 思いあう 下中生」

No. 5 令和5年 8月31日(木)

文責 下郷中学校長 我妻雄比古

# 2学期がスタート！

8月25日から第2学期がスタートしました。2学期は、英語弁論大会、校内ビブリオバトル、全会津駅伝大会、修学旅行、生徒会役員選挙、新人戦、合奏祭や下中祭等たくさんの活動があります。

「認めあい 思いあう 下中生」のスローガンのもと、健康安全に努めながら、全校生一丸となって精一杯頑張りたいと思います。

さて、始業式に生徒の皆さんに話しましたが、「夏休み・何かひとつ心に残ること」にチャレンジしましたか？

私は、10冊の本を読破する目標を立てましたが、実際に読んだのは4冊でした。

完璧ではありませんでしたが、今回のチャレンジにより、約1カ月で4冊の本を読んだのは人生60年目に初めてでした。私にとって、忘れることのないよい思い出になりました。

9月5日には校内ビブリオバトルが開催されます。日頃の読書を通じて感じた自分の気に入った本の魅力を紹介したり、それを聴いて、自分が読みたくなった本に投票するなど、有意義な活動になることでしょう。昨年度は学年ごとの開催でしたが、今年度は全校生徒が一同に会して行います。楽しみにしています！

長い2学期ですが、健康に留意して日々生き生きとした生活ができるよう、先生方と生徒のみなさんの心を一つにして、頑張っていきましょう。



1	学校安全点検日	11	給食管理実習～15日	21	郡中体連新人大会
2		12	全会津小中学校音楽祭	22	
3		13	修学旅行	23	秋分の日
4	全会津駅伝壮行会	14	修学旅行・職場学習・職場訪問	24	
5	校内ビブリオバトル	15	修学旅行・職場学習	25	全校朝会
6		16		26	めばえ教室(3年)
7	全会津中体連駅伝大会	17		27	職員会議
8	生徒会立会演説会	18	敬老の日	28	
9		19	郡新人大会壮行会	29	英語検定
10		20	郡中体連新人大会	30	

裏面もご覧ください

# 英語弁論大会で躍動！

8月28日、南会津町御蔵入交流館で第51回南会津郡中学生英語弁論大会が開催されました。本校から4名の生徒が出場し、感情豊かに生き生きと発表することができました。創作の部で第1位に輝いた渡部理子さん、おめでとうございます！暗唱の部で奨励賞に輝いた、湯田心遥さん、渡部結愛さん、星瀬那さんのベストパフォーマンス、すばらしかったです！夏休み中にコツコツと練習を重ねてきた成果を存分に発揮してくれました。感動をありがとう！

創作の部 第1位に輝いた渡部理子さんの原稿を掲載します。



## The Words I Want to Say

SHIMOGO J.H.S. Watanabe Riko

あなたは混んでいるバスにのっています。空いている席はありません。そこに老人が乗ってきました。あなたはどのような行動をとりますか？ さっと立って席を譲りますか。譲りませんか。

去年の冬、私がバスに乗っているとき、年をとっている（と思われる）人が乗ってきました。私は迷わず「席をどうぞ」と言って立ち上がりました。その男性は、少し驚いたような表情を見せた後、「けっこうです」と言って私の申し出を断りました。私はどうしていいかわからず、下を向いてしまいました。私は教えられたとおりに、勇気を出して行動したのに断られたのです。私は間違ったことをしたように感じました。その男性は年をとっていなかったのか、本当に席が必要ななかったのか・・・私は気まずくて次のバス停で降りてしまいました。それ以来、私はバスに乗ると下を向き、周りで起きていることに気づかないふりをするようになりました。周りを見る勇気もありませんでした。

この状況は数ヶ月続きました。しかしある出来事が私の気持ちを変えました。母と買い物に行ったとき、小さい子供を連れてベビーカーを押している女性がいました。買い物かごを持ちながら、ベビーカーを押すのはとても大変そうでした。そこに元気に動き回り男の子もいたのです。すると母は「荷物持ちますよ」と女性に申し出て、さっと荷物を持ちました。そして車まで運んであげたのです。その人は何度も何度も母にお辞儀をして、お礼を言っていました。

私はお母さんに尋ねました。どうしてさっと声をかけられたの？ 母は答えました。「女性が一人で小さい子供連れて外出するのはたいへんなのよ。あなたが小さい時もおなじだったのよ。私もたくさんの人に何度も助けられたわ。それに困っていそうな人がいれば声をかけるのがあたりまえ。自分から手伝ってくださいとは言いつらいけど、笑顔で「Can I help you?」言えば、みんなYESと答えるわ。」母は笑顔で話していました。

私は、たった一度断られたくらいで、気づかないふりをして下を向いていた自分のことを考えました。気持ちはあるのに行動できない。困っている人がいても声をかけられない自分がとても恥ずかしく思いました。それから私は怖くなりました。悩んでいるよりも行動。恥ずかしいことなんてない。ほんの少しの勇気とスマイルだけ。困った人がいたら手助けする。こういう行動ができる人が増えたなら、いい感じの社会になるといませんか？

困ってそうな人がいれば、私は迷いなく笑顔で言います。

「Can I help you?」

Imagine you're riding a crowded bus. There are no empty seats. You see an elderly man get on: how do you react? Do you stand and give up your seat? Or do you sit there and do nothing?

Last winter, I was riding the bus when an elderly-looking man got on. Without hesitation, I stood up. "Here." The man seemed taken-aback. He said, "I'm fine," and declined my offer. I was shocked. I looked down, unsure what to do next. I was always told it was a good thing to do to give up my seat to others. But just when I did my best to gather my courage and do the right thing, I was rejected. Did I do something wrong? Was the man not as old as I thought? Did he really not need a seat? Thinking these things, I was so embarrassed I got off at the next stop. From then on, when I rode the bus, I would pretend to not notice those around me.

This went on for many months. Recently though, something changed my mind. While I was out shopping with my mother, we saw a woman pushing a stroller. Carrying her shopping basket at the same time looked very difficult. Even worse, her child kept running and jumping around her energetically. My mother saw this and quickly stepped in. "Here. Let me help you." My mother took the woman's shopping basket and carried it all the way to her car. The woman kept bowing over and over, thanking my mother.

After the woman left, I asked my mother how she reached out to the woman so easily. My mother replied with a smile. "It's hard for a woman to go out alone with a small child. It was the same when you were little. It's hard to ask for help, but if someone approaches you with a smile and says 'Can I help you?', everyone will say yes."

I thought about myself, who became embarrassed to reach out after being rejected only once. Even though I wanted to help, I let my fear stop me.

From now on, I don't want to be afraid. Rather than worry, I'll want to take action. We shouldn't be ashamed to want to help people. All it takes is some courage and a smile. Wouldn't you be happy if someone smiled and offered help when you needed it? Don't you think if everyone offered help to one another, the world would be a better place to live in? If someone looks like they're in trouble, I want to smile and say: Can I help you?